



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社スマサポ 上場取引所 東
コード番号 9342 URL <http://www.sumasapo.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長CEO（氏名） 小田 慎三
問合せ先責任者（役職名） 代表取締役副社長COO（氏名） 藤井 裕介（TEL）050(1741)3339
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	2,145	△2.2	124	△36.2	125	△36.1	78	△52.4
2025年9月期第3四半期	2,192	7.7	195	83.6	195	79.0	164	78.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	32.49	32.43
2025年9月期第3四半期	68.29	68.04

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第3四半期	933	649	69.6
2025年9月期	830	571	68.8

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 649百万円 2025年9月期 571百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	3,150	11.8	230	20.8	230	20.4	155	19.0	64.44

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	2,405,200株	2025年9月期	2,405,200株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	43株	2025年9月期	43株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	2,405,157株	2025年9月期3Q	2,405,174株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果のもと、緩やかな回復基調が続いております。一方で、中東情勢の影響を引き続き注視する必要があるほか、金融資本市場の変動など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社が主にサービスを提供する不動産業界におきましては、都心部を中心とした堅調な賃貸需要を背景に、既存物件の稼働率はおおむね安定的に推移しております。また、不動産管理業界全体で人手不足感が高い水準で継続しており、生産性向上を目的としたデジタル技術の活用は引き続き高水準で推移しております。

このような状況の下、当社は既存事業の収益性改善と、将来の成長に向けた事業基盤の強化に取り組んでまいりました。「スマサボサンキューコール」については、収益性重視の運営方針のもと取引条件の最適化を継続した結果、コンタクト数は前年同期比で3.2%減、単価は前年同期並みで推移いたしました。また、成長ドライバーである入居者アプリ「totonono」におきましては、従来のtotonono1.0に入居者対応業務のアウトソーシングを付加したtotonono2.0の販売に引き続き注力いたしました。その結果、ユーザー数は前四半期比18.5%増、ARPUは125円に達するなど、ユーザー数・収益性ともに着実な進捗がみられました。一方で、totonono1.0からtotonono2.0へのサービス移行期の継続や、「スマサボサンキューコール」における収益性重視の運営への移行が影響し、売上高は前年同期比で減少いたしました。利益面におきましても、売上総利益の減少に加え、事業譲受に伴う費用やAI分野への研究開発といった将来の成長に向けた先行投資を継続したことから、前年同期比で減少しております。当社といたしましては、こうした移行期における短期的な業績への影響を、中長期的な企業価値向上に不可欠な戦略的投資の過程と捉え、「totonono」の機能拡充やAI分野での研究開発など、中長期的な企業価値向上に資する成長投資を引き続き推進してまいります。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高は2,145,289千円（前年同四半期比2.2%減）、営業利益は124,825千円（前年同四半期比36.2%減）、経常利益は125,238千円（前年同四半期比36.1%減）、四半期純利益は78,148千円（前年同四半期比52.4%減）となりました。

なお、当社は不動産管理会社向けソリューション提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ102,014千円増加し、933,006千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ21,016千円増加し、549,178千円となりました。これは主に、現金及び預金が26,077千円減少した一方で、売掛金が18,226千円、その他が34,980千円増加したこと等によります。

固定資産は、前事業年度末に比べ80,998千円増加し、383,828千円となりました。これは主に、ソフトウェアが33,183千円、その他が23,190千円、投資その他の資産が25,898千円増加したこと等によります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ23,865千円増加し、283,367千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ24,292千円増加し、280,224千円となりました。これは主に、その他が8,736千円減少した一方で、未払法人税等が15,983千円、賞与引当金が12,508千円増加したこと等によります。

固定負債は、前事業年度末に比べ427千円減少し、3,142千円となりました。これは、保証履行引当金が427千円減少したことによります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ78,148千円増加し、649,639千円となりました。これは、四半期純利益の計上により、利益剰余金が78,148千円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、2025年11月13日に公表いたしました「2025年9月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」の内容に変更はございません。なお、当該業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	372,651	346,574
売掛金	77,295	95,521
商品	16,457	11,233
その他	69,065	104,046
貸倒引当金	△7,308	△8,196
流動資産合計	528,162	549,178
固定資産		
有形固定資産	2,279	1,004
無形固定資産		
ソフトウェア	238,072	271,255
その他	15,238	38,429
無形固定資産合計	253,311	309,685
投資その他の資産	47,239	73,137
固定資産合計	302,830	383,828
資産合計	830,992	933,006
負債の部		
流動負債		
買掛金	65,183	69,721
未払法人税等	38,219	54,202
賞与引当金	36,150	48,658
その他	116,379	107,642
流動負債合計	255,931	280,224
固定負債		
保証履行引当金	1,869	1,442
資産除去債務	1,700	1,700
固定負債合計	3,569	3,142
負債合計	259,501	283,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	213,707	213,707
資本剰余金	203,707	203,707
利益剰余金	154,121	232,269
自己株式	△46	△46
株主資本合計	571,491	649,639
純資産合計	571,491	649,639
負債純資産合計	830,992	933,006

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	2,192,942	2,145,289
売上原価	1,387,978	1,338,834
売上総利益	804,964	806,454
販売費及び一般管理費	609,403	681,629
営業利益	195,560	124,825
営業外収益		
受取利息	137	361
補助金収入	—	267
償却債権取立益	671	291
その他	87	173
営業外収益合計	895	1,093
営業外費用		
支払利息	606	677
その他	0	2
営業外費用合計	607	680
経常利益	195,849	125,238
特別損失		
固定資産除却損	187	0
特別損失合計	187	0
税引前四半期純利益	195,661	125,238
法人税等	31,423	47,089
四半期純利益	164,238	78,148

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

当社の事業セグメントは、不動産管理会社向けソリューション提供事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれん及び顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額及び顧客関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	41,401千円	55,953千円
のれん償却額	—	428千円
顧客関連資産償却額	—	873千円